

# Cente Technical Information

発行番号	002-0010	Rev	第1版	発行日	2012/07/05
題名	DHCPv6サーバと通信できなくなった場合に、取得した自IPv6アドレスを使い続けてしまう				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none"><li>•Cente IPv6 Ver.1.30 - Ver.1.43</li><li>•Cente IPv6 SNMPv2 Ver.2.10 - Ver.2.13</li><li>•Cente IPv6 SNMPv3 Ver.2.10 - Ver.2.13</li></ul>				
関連資料	なし				
<p><b>【該当するユーザ環境】</b> DHCPv6によってIPv6アドレスを取得しているユーザ。</p> <p><b>【障害内容】</b> DHCPv6によってIPv6を取得した後、一度Ethernetケーブルを抜くなどしてリンクダウンさせます。その後再度Ethernetケーブルを接続すると、取得済みのIPv6アドレスを継続して使用するためにConfirmメッセージをDHCPv6サーバに送信します。このとき、DHCPv6サーバがダウンしているなど応答を受信できなかった場合、取得したIPv6アドレスが有効な状態のまま削除されずに残ってしまいます。それによって直接通信できなくなるような症状とはなりません、これを繰り返すと新たなIPv6アドレスを取得できなくなるなどの症状となります。</p> <p><b>【発生理由】</b> Confirmメッセージに対して応答を受信できなかった場合の実装に不備があり、正しくIPv6アドレスを削除できていませんでした。</p> <p><b>【回避方法】</b> 回避には、ソースコードの変更が必要です。 (変更箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					